

本書において下記のとおり、誤りがございました。

内容を訂正すると共に、皆様にご迷惑をお掛け致しましたことを、深くお詫び申し上げます。

恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

なお、増刷の際は下記正誤を反映いたします。

書籍名: ジャケットのパターンメイキング基本編【改訂版III】パターンメイキング技術検定1級副読本

ISBN: 取次なし

記載日	最新版発行日	版(校正がある版)	ページ	内容の補足	誤	正
2024年9月4日	2021年7月1日	第1版	116 上部	パターン寸法表	パターン寸法 バスト<周径>333mm ウエスト<周径>167mm 袖口幅 25mm	パターン寸法 バスト<周径>936mm ウエスト<周径>804mm 袖口幅 250mm
2024年9月4日	2021年7月1日	第1版	145<図-10>1~2行目	本文	袖を製図するには囲み制図法の例にそって身頃の袖ぐり線を使って製図する方法と、検定会場で配布される袖原型を展開する方法がある。袖原型は身頃原型の袖ぐりに合わせて作成されているので、肩パッド分等を展開した際に生じた寸法差を調整する必要がある。肩パッド分と袖の厚み分の展開線(折れ山線)を引く。	袖を製図するには囲み制図法の例にそって身頃の袖ぐり線を使って製図する方法と検定会場で配布される身頃原型に合わせて袖原型を製図し、展開する方法がある。袖原型は身頃原型の袖ぐりに合わせて作成し、肩パッド分等を展開した際に生じた寸法を調整する必要がある。肩パッド分と袖の厚み分の展開線(折れ山線)を引く。
2024年12月7日	2021年7月1日	第1版	139上部	図-01	パターンメイキング技術検定1級実技試験会場で配布されるベーシックスローパー。 ・タイトスローパー(前後) ・スカートスローパー(前後) ・スリーブスローパー ※5パーツ構成	パターンメイキング技術検定1級実技試験会場で配布されるベーシックスローパー。 ・タイトスローパー(前後)
			142	図-08	※ウエスト位置のカット分量はスカートスローパーのダーツと脇線のカット分量を参考としてバランスよく数値を決めることもできる。スカートスローパーは腰部分の形状を表現しているため、各ダーツ分量の1/2~1/3を目安としてジャケットのW寸法を調整する。	現在パターンメイキング技術検定1級試験においてスカートスローパーは配布されないため、左記説明文は適応外。